

令和4年

10月

No.66

Autumn



所沢の“今”が2分でわかる！

ところざわ通信



Tokorozawa News

01 グランエミオ所沢の全店舗に筆談ボードを設置

10月1日(土) グランエミオ所沢



本市からグランエミオ所沢に提供した筆談ボード135個が、この日から全店舗に設置されました。各店舗で筆談ボードが設置してあることをお知らせしています。筆談ボードは、黒い画面に電子ペンで文字を書くことができ、ボタンを押せばすぐに消すことができます。言葉が不自由であったり聴覚に障害があったりしても、気兼ねなく商業施設に来店し、スムーズなお買い物をお楽しみください。

02 赤色と白色のコントラスト 牛沼の彼岸花

9月21日(水)・24(土)取材 牛沼地区



所沢牛沼彼岸花クラブが丹精込めて育てた彼岸花が今年も満開に。赤く咲き誇る彼岸花のそばに部分的に咲く白い彼岸花。その存在感が目を引きまます。一面に広がる彼岸花を一目見ようと、満開の時期にはたくさんの人で賑わっていました。気温が下がり始めた頃に広がる赤色と白色の彼岸花が織りなすコントラストからは、季節の移ろいを感じることができました。

撮影：市民カメラマン・藤本えみ

03 三ヶ島小の子どもたちが稲刈り体験

9月22日(木) 糎谷八幡湿地



里山の美しい風景が保存されている糎谷八幡湿地で、三ヶ島小学校の5年生が稲刈りを体験。糎谷八幡湿地保存会の協力により、3年ぶりに実現しました。鎌の使い方を教えてもらい、実践する子どもたち。すぐに刈り方を習得した子どもたちに保存会の方々が「覚えるのが早いね！」と驚く場面も。心配された雨も降らず、晴れ間ものぞく中、手足に泥を付けながらも笑顔が溢れる1日となりました。

04 ところざわオレンジウィーク

9月12日(月)～16日(金) 市役所1階市民ホール



認知 認知症地域支援推進員が中心となり、認知症や関連施設、支援サービスなどについて、地域住民に紹介するイベント「オレンジウィーク」。認知症のことを「話せる・聴ける・学べる」場として、認知症サポーター養成講座が開催されました。映像で認知症の方に対する接し方を学んだあと、「オレンジ・メイト」と名付けられた方々が登場。新聞紙や紙袋を使って、明るい雰囲気の中で、参加者みんなが認知症について学んでいました。

05 スロバキア共和国の首都ブラチスラバ市から視察団が来訪

9月5日(月)～7日(水) 市内各所



EUのプロジェクト「国際都市地域間協力(IURC)」において、互いの課題解決に取り組む所沢市とブラチスラバ市。コロナ禍で対面での交流ができずにいましたが、この度、ブラチスラバ市から2名の職員が所沢に視察に訪れました。「エネルギーの地産地消」をテーマに、ところざわサクラタウン、フロートソーラー所沢、ソーラーシェアリングなどを視察した一行。互いの施策の意見交換をしながら、親交を深めることができました。

06 いざというときに備える 総合防災訓練

9月3日(土) 所沢航空記念公園



いつ起こるか分からない大規模災害。被害を最小限にするために、防災訓練が実施されました。会場の一つ、所沢航空記念公園で行われたのは、関係機関と連携した大規模訓練。災害時を想定して、災害派遣訓練や倒壊家屋からの人員救出訓練などが実演されました。真剣な表情で訓練に臨む各機関の隊員や職員の姿に、見学の方々も見入っていました。
撮影：市民カメラマン・石井将太郎

最新情報はこちら

市ホームページ内「ところざわ通信」をご覧ください。



所沢市広報課フェイスブックもチェック!



令和4年(2022年)10月発行号【No.66】

発行 所沢市

〒359-8501 所沢市並木1-1-1

編集 広報課 ☎04-2998-9024

FAX 04-2994-0706

市HP <https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>

広報マスコット ひばりちゃん

